

〔八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策〕

レイ・プランツの品目の充実を目指した栽培および出荷技術の確立  
～プルメリアの花の品質保持期間および収穫方法の検討～

下野大輝・小糸優華・野口 貴  
(島しょセ八丈)

---

【要 約】プルメリアの花の可販日数は8℃保存で約10日、30℃保存で約2日である。水の有無は品質保持に影響しない。4品種の中では「セラダイン」の花もちが最も良い。プルメリアは花房ごと収穫しても蕾が開花することはなく、収穫方法として不適である。

---

【目 的】

2019年の別報により、プルメリアの形質および収量を明らかにした。八丈島から内地へ農産物を出荷する際には、輸送時間がかかる。一方で、プルメリアの花の日持ちに関する研究はほとんど行われておらず、知見に乏しい。本試験では花の品質保持期間を明らかにするとともに、収穫方法の検討を行い、出荷技術の確立を目指す。

【方 法】

1. ハウス内で地植え栽培しているプルメリア「ドワーフシンガポールピンク」の花を採取(図1)し、温度条件を変えた2区(8℃区:冷蔵庫内, 30℃区:パイオトロン内)と花茎に浸す水の有無を変えた2区(水無し区, 水有り区)を設け、A品(可販花), B品(花弁に褐色斑点がみられ, 販売できない花), C品(花弁に褐色斑点が多数みられ, 観賞に堪えない花)の数, 品質保持期間を調査した。
2. 「ドワーフシンガポールピンク(DSP), セラダイン(Cd), インディア(Id), ポールウェッチ(PW)」の花を30℃で保存し, 品質保持期間を調査した。
3. 「DSP」の花を花房ごと採取し(図1), 温度条件を変えた区(8℃区, 8℃→30℃区: 8℃で2日間保存した後30℃で保存, 30℃区)を設け, 開花数を調査した。採取時に開花している花については, 調査前に花房から取り除いた。

【成果の概要】

1. 8℃区は収穫6日後からB品が出始め, 12日後には半分以上がB品もしくはC品となり, 21日後には全ての花がC品となった(図2)。30℃区は収穫2日後からB品が出始め, 3日後には半分以上がB, C品となり, 5日後には全ての花がC品となった。可販日数(A品からB品になるまでの日数)および観賞日数(A品からC品なるまでの日数)は, 8℃水無し区では約10日, 14日, 8℃水有り区で約11日, 15日, 30℃水有り区, 水無し区はともに約2日, 3日であった。水の有無による品質保持期間の差はなく, 温度による影響が大きくみられた。
2. 可販日数および観賞日数は「DSP, PW」が短く, 「Cd, Id」が長かった。
3. 30℃区で3花のみ開花がみられた。それ以外の区では開花はみられなかった。以上より, プルメリアの花を花房ごと収穫・保存しても, 蕾はほとんど開花せず, 収穫方法としては不適であると考えられた。

【残された課題・成果の活用・留意点】

内地への輸送試験を実施し, 実用に堪えられるかを確認する必要がある。

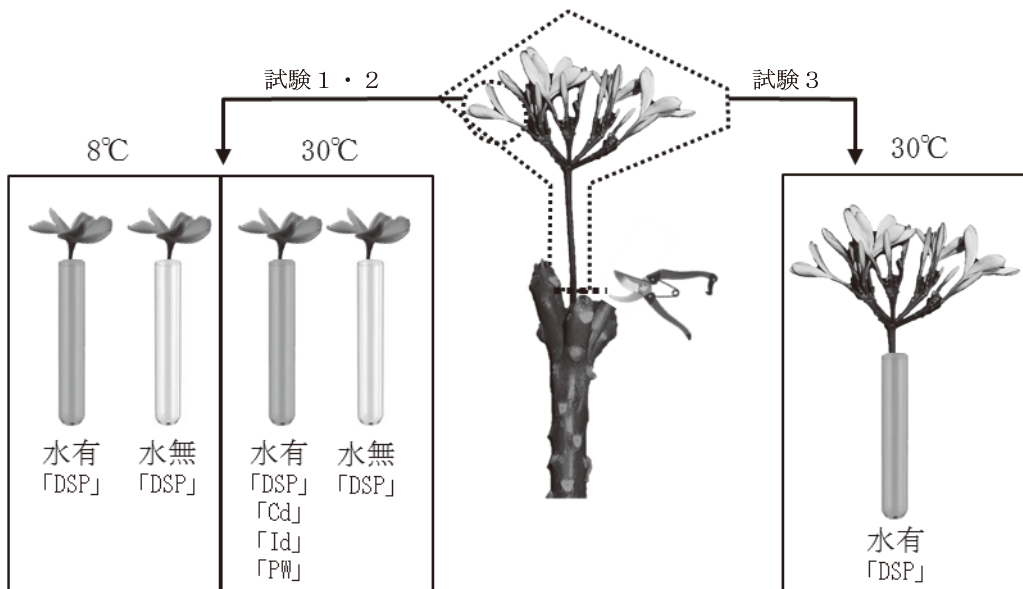


図1 各試験の花の収穫方法

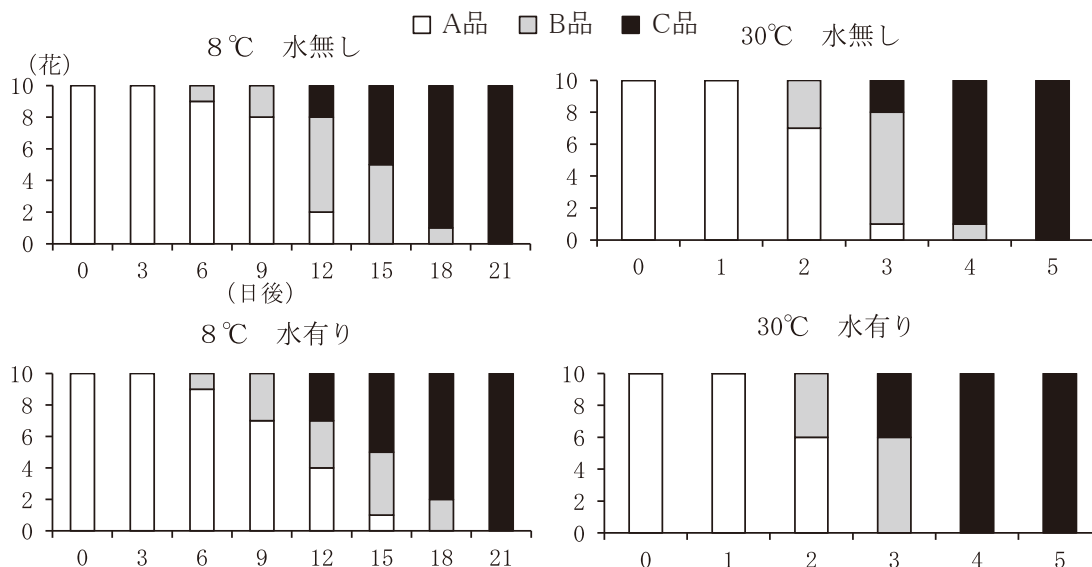


図2 保存条件と可販花推移

表1 保存条件と品質保持期間

温度 (要因A)	水の有無 (要因B)	可販日数	観賞日数
8°C	無し	10.8	14.8
	有り	11.7	15.3
30°C	無し	2.8	3.9
	有り	2.6	3.6
要因効果	A	*	*
	B	n. s.	n. s.
	A × B	n. s.	n. s.

a) \*はくり返しのある二元配置分散分析により、有意水準5%で有意差があり、n. s.は有意差がないことを示す。調査数は各区10花。

表2 各品種の品質保持期間

品種	可販日数	鑑賞日数
ドワーフシンガポールピンク	2.6	3.6
セラダイナ	3.9	4.2
インディア	3.7	3.7
ポールウェッチ	2.7	3.8

花径に水道水を浸し、30°Cで保存した。供試数は各区10花。

表3 花房収穫による開花数

試験区	蕾数	開花数
8°C	14	0
8°C → 30°C	9	0
30°C	14	3

供試数は各区1花茎